

監修 福岡大学 副学長
薬学部 教授
藤原 道弘

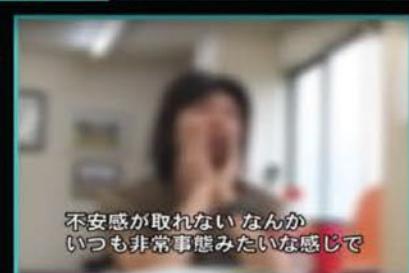
推薦

内閣総理大臣認可

(社)日本青少年育成協会

今すぐ防げ! 大麻汚染

最初の一回が人生を狂わせた



企画意図

最近、大学生など若者の間で、大麻、覚せい剤所持、吸引による摘発が相次ぎ、マスコミを賑わせています。関与した当事者たちは、社会的信用を失い、人生を棒に振りかねません。大麻は、インターネットなどを通じて、種子の入手が容易になっていること、又、「大麻はタバコより害がない」などといった誤った情報が汚染拡大へとつながっています。しかし、大麻などの薬物は、その成分が一旦脳に入ると、脳の中で満足感を生じる「報酬系」と呼ばれる部分に作用し、依存や異常を引き起こす——これが違法薬物の恐さなのです。

そこで、この作品は、若者たちが興味本位で大麻に手を出し、人生を棒に振らないように、大麻には、どんな害があるのか、その危険性と違法性を強く訴えていくものです。

監修者・推薦の言葉

今、若者を中心に拡がっている大麻。その背景にはインターネットなどの普及により、大麻の種や栽培キットを安易に購入することができます。又、大麻に対する間違った情報も随分と流れています。

私は約30年、ラットなどの実験を通して、大麻の主成分THC(テトラヒドロカンナビノール)が大脳辺縁系にどのように作用しているかを研究し、大麻が脳の機能に大きな害を与えることを痛感しています。この作品は大麻に対する間違った情報を正し、大麻や薬物依存の恐さを説得力ある映像で描いていて、完成度の高い内容となっています。

福岡大学 副学長 薬学部 教授 藤原道弘

作品の概要

■急速に拡がる若者の大麻汚染

この数年、麻薬取締官たちは連日、大麻の売人、所持、栽培などの摘発に追われている。取材は、外国人の密売人逮捕の瞬間を捉える。密売人の自宅からは大麻樹脂など、大量の違法薬物がみつかった。又、大麻草の栽培現場も捉える。押し入れで栽培していたのは、20代の若者だ。

大麻事件の検挙率は10年前と比べると約2倍以上に増えている。特に大麻の栽培で逮捕されるケースが最近は目立っている。今なぜ、大麻汚染は急速に拡がっているのだろうか?

■インターネットで簡単に手に入る大麻

大麻草の葉と花の穂の部分を乾燥させたものが大麻だ。大麻には酩酊作用があり、この作用を引き起こす成分がテトラヒドロカンナビノール、通称THCといわれるものだ。この大麻を、最近ではインターネットで海外から購入。密売人と接触することなく、大麻を育て吸っている。でも、大麻などの薬物は、一旦、身体に入ってしまうと取り返しのつかないことになる。

■薬物依存者のためのリハビリ施設では

薬物依存者のためのリハビリ施設、ダルク。ここでは薬物依存者が社会復帰をするため、リハビリと取り組んでいる。しかし施設の責任者は語る…「薬物依存の先には刑務所・精神病院・施設・死しかない」と言っています」軽い気持ちで始めたつもりが依存症に陥り、なかなか薬物を断ち切れないのだ。ここでは薬物依存に陥り、現在リハビリ中の方にマイクを向け、なぜ大麻に手を出したのか、そのキッカケを探る。

■様々な実験が語る大麻の本当の恐ろしさ

では大麻を吸うと、なぜ薬物依存が起こるのだろう?大麻の成分THCが血液に溶け、脳に浸透すると、脳の中では、どのようなことが起こるのか。ここではCG映像やラットを使った実験で、脳が破壊されていく姿を詳しく描いていく。長年、大麻の実験に取り組む専門家は語る…「THCは脳の快中枢に作用し、脳は

その快感を一生、忘れない、一生苦しみ続けることになるのです…」

■麻薬運び屋 韓国で次々摘発

大麻は身体に害を与えるだけではない。法律では大麻の所持、栽培に対して厳しい罰則が与えられている。特に海外では、大変厳しい。ところが韓国で、日本の若者がアルバイト感覚で大麻を運び、次々と逮捕されている。軽い気持ちで大麻に手を出す若者たち。そこに共通するのは罪の意識の希薄さだ。

監修 福岡大学 副学長
薬学部 教授 藤原道弘

指導 福岡大学 薬学部
准教授 三島健一
白川敦規

制作統括
脚本・監督 高木裕己

脚本 三木 實
撮影 高橋哲也 淵上 拳

韓国撮影 権 舜

コーディネーター 金 明哲

協力 関東信越厚生局 麻薬取締部
福岡大学 薬学部 臨床疾患薬理学教室

川崎ダルク支援会

仁川国際空港

仁川空港税関

仁川地方検察庁

制作著作 株式会社 映学社

●価格 (DVD)

- ライブラリー価格: 65,000円+税
- 学校価格: 33,000円+税

●お問い合わせ、お買い上げは……



株式会社映学社

EIGAKUSYA CO.,LTD.

〒160-0022 東京都新宿区新宿5丁目7番8号らんざん5ビル
TEL: 03-3359-9729 (代表) FAX: 03-3359-4024
<http://www.eigakusya.co.jp/>